

10・22三里塚 田中書記長 事業団決戦を訴える

十・二二三里塚現地集会は全国から一万余の労働者・農民・住民の結集のもと、二期工事用地内でもちとられた。動労千葉・動労総連合は一〇〇名が参加して、共に闘いぬいた。



【二期用地内を進むデモ・天神峰】

三里塚と共に断固闘う (田中書記長)

三里塚と労働戦線ともに決戦をむかえています。治安法の攻撃は許せない、こんなものが法律とよべるのか、国家権力の暴力そのものではないか。国鉄改革もそうだ。断固とした闘いを闘おう。労働者らしく、農民らしく、人間らしく生きたいと思うことを破壊する国家権力など打倒されるべきだ。反対同盟二三年の闘いは、権力と闘って勝てることを証明している。闘いこそ強くなる。

十一月、第二波は来年三月。四月一日、動労千葉は十二名、全国二五〇〇名も再び解雇することは許さない。JR総連は、クビにしる、という運動をしている。これが労組といえるか。JR当局は逆裁判を行っている。分割・民営化の後半戦をかけた闘いとして総決起する。十一月二一日、総評は解散する。連合は敵を擁護するものだ。全国交流センターを突破口に、右翼労戦統一粉砕に総決起する。十一月二三日、東京で集会を開催する、総力で決起をお願いします。

「治安法」粉砕、これから五ヶ月が決戦だ (北原事務局長)

本日の現地集会は重大な闘争宣言の場であり、三里塚闘争の勝利のかけつた集会です。警察の過剰警備・弾圧によってのみ空港建設は進められてきた。三里塚は最大の決戦をむかえている。「治安法」は反対同盟の現地闘争本部をはじめとする団結小屋を「使用禁止・封鎖・撤去」し、敷地内の攻撃を強めるものであるが、用地問題は破綻し九〇年度概成は破綻においてこまれている。運輸大

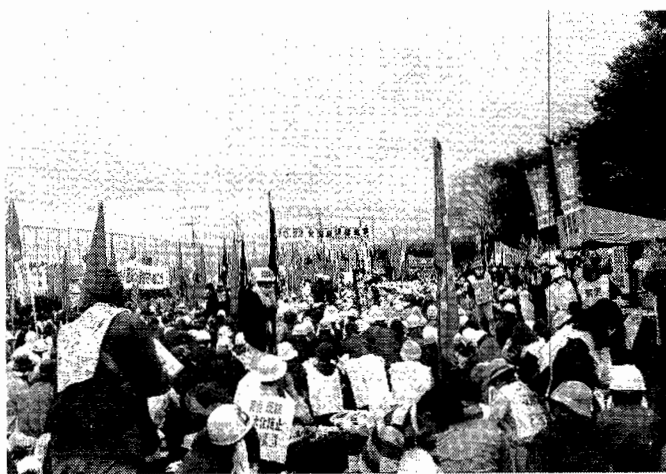
臣一人の署名で農民の財産・生活権を奪うものであり、こんなデタラメは許せない。再び代執行は許さない。公団は敷地内農民の軒先で工事を行い、機動隊は火炎ビンを使って訓練している。それで「話し合い」とはどういうことか。土地は絶対に売らない。

十二月十七日、現地臨時集会を開催する。権力・公団はおいづめられている。ここが最大の決戦となる。反対同盟は全国にあらたな共闘と連帯のよびかけを行いながら三月二五日の全国集会を開催します。「治安法」、十二月収用委員の再任命策動など、これから五ヶ月が最大の決戦となる。十二月十七日現地、三月二五日全国集会へ全力で結集を。

集会は政府・運輸省・公団、警察権力の成田治安法発動への怒りも激しく、闘いの正念場に総決起を確認する場となった。北原事務局長の基調報告(左記)をはじめ発言する反対同盟員は口々に権力を弾劾し、十二月県議会収用委員再任名阻止、成田治安法決戦にたちあがることを訴えた。動労千葉からは田中新書記長が決意をあきらかにした(上記)。



【決意表明する田中書記長】



【全国から一万余の結集で闘いの決意かためる】

団結祭典に
全力で集まろう

十一月二日 九時集合同
旧千葉鉄道学園